

# 楠原だより

## 岐宿っ子の心を見つめる教育週間

先日、六月八日～六月十三日まで、「岐宿っ子の心を見つめる教育週間」を実施しました。八日の全校集会では私の講話を行いました。今年度は、もう一度この教育週間を始めるに至った経緯（長崎市の駿ちゃん事件や佐世保市の大久保小事件）について話しました。悲しくつらい話ではありますが、子どもたちに知らしめていかなければ、時間とともに風化したり、忘れられたりする可能性があるからです。最初はこの事件が起こった当時に実施された、小学四年生・六年生・中学二年生約三千人を対象としたアンケートの結果を話しました。この調査は、小・中学生の「生と死」に対するイメージを調べるためのものでした。その中に「死んだ人は生き返ると思うか？」という質問があります。この質問に対して「はい」と答えた子の割合は約15%でした。中学生でも約18%の生徒が「はい」と答えています。当時、この結果は新聞等でも大きく取り上げられたので、ご記憶されている方もいるかも知れません。私たち教職員にとっても、大変衝撃的な結果でした。それから今に至るまで、学校では教育週間中はもとより、日常的に「命の大切さ」について授業等で

めざす児童像  
思いやりのある子  
楽しく学ぶ子  
たくましい子

繰り返し繰り返し子どもたちに話をしていきます。



今回の講話では、この調査結果を話した後、詩人である高田敏子さんの「水のころ」という詩を紹介して話を終えました。著作権の関係でここに掲載することは差し控えますが、とても考えさせられることの多い詩だと私は思っています。機会があったら一度読んでみてください。

### 芋植え体験

一・二年生が先日芋植えを行いました。これは、十一月に実施予定の岐宿っ子祭り、芋餡の材料にするために育てていきます。



雨が続き、たちまち雑草が伸びて草取りも大変ですが、低学年の子どもたちは、大きなお芋がたくさん収穫できるように張り切ってお世話してくれると思います。

### 五年生田植え体験

五年生は、川原ファームの山下緒市様のご協力で、学校のすぐ近くに田んぼを借りていただき、餅米の稲を植えました。これは、岐宿っ子祭りで餅つきをするためのものです。当日はあいにくの小雨模様でしたが、子どもたちは雨にも負けず、どろんこになりながら稲を植えていました。山下様をはじめとして、当日お手伝いいただいた地域の方々のおかげで無事田植えを終えることができました。ありがとうございます。秋にはたくさんのお米が収穫できるように祈りたいと思います。それから、9月になったら、手作りの案山子を作成し、鳥よけとして、田んぼに設置したいと思っています。設置しましたらお知らせします。



### 地域クリーン活動

教育週間中に、地域への貢献活動の一つとして、クリーン活動を行いました。これは、縦割り班ごとに、学校周辺のごみ拾いをしていきます。暑い中ではありますが、どの班も一生懸命ごみを拾っていました。



短時間の活動ではありましたが、自分たちの手で、自分たちの学校の周りをきれいにしたいと、何だか子どもたちの顔も晴れやかに見えました。

